

- ★ コシヒカリ、粒すけの幼穂形成期は、平年より
やや遅め！
- ★ 7月9日頃から、ふさおとめで出穂期の見込み！

1 君津地域の生育概況

関東甲信地方は平年より22日早い6月27日に観測史上最も早い梅雨明けを迎えました。6月下旬から気温・日照ともに平年より高く推移しています。どの品種も水が必要な時期となっています。高温が続くことが予測されていますので湛水で管理しましょう。

4月20日に移植した「コシヒカリ」は6月25日頃（平年より3日遅い）、「粒すけ」は6月24日頃（平年より3日遅い）に幼穂形成期を迎えました。

また、5月1日に移植した「コシヒカリ」は6月29日頃（平年より1日遅い）から幼穂形成期を迎えています。

2 生育調査ほの調査結果

品種		田植日	坪当たり 植付株数	葉令 (枚)	草丈 (cm)	茎数 (本/株)	茎数 (本/m ²)	単葉 葉色
ふさおとめ (袖ヶ浦市)	R4年	4/21	51	10.8	53	34.8	539	39.6
	R3年	4/16	51	11.4	59	42.7	658	42.9
	前年比	+5	100%	-0.6	90%	81%	82%	92%
ふさこがね (木更津市)	R4年	4/19	65	9.8	44	25.3	495	39.4
	平年値	4/21	63	10.3	47	22.5	427	40.4
	平年比	-2	103%	-0.5	94%	112%	116%	96%
コシヒカリ (君津市)	R4年	4/22	49	11.6	68	23.1	344	35.5
	平年値	4/26	53	10.5	66	38.3	612	36.9
	平年比	-4	92%	+1.1	103%	60%	56%	96%
粒すけ (君津市)	R4年	5/3	54	11.4	63	22.4	365	31.3
	平年値	5/3	53	11.2	59	31.2	502	38.3
	平年比	±0	102%	+0.2	107%	72%	73%	82%

※平年値について、ふさこがね、粒すけは令和2、3年の平均、コシヒカリは令和1～3年の平均です。

ふさおとめは令和3年から新たなほ場で調査をしているため、平年値はありません。

※品種ごとに調査した日程が異なります。ふさおとめ、ふさこがねは6月15日に、コシヒカリは6月29日に、粒すけは7月4日に調査した結果になります。

-郵便で配信している方へお願い-

通信費削減のため、「あぜみち」の配信を、郵便から、電子メール又はFAXへの切替えを進めています。変更いただける方は、下記まで御連絡ください。

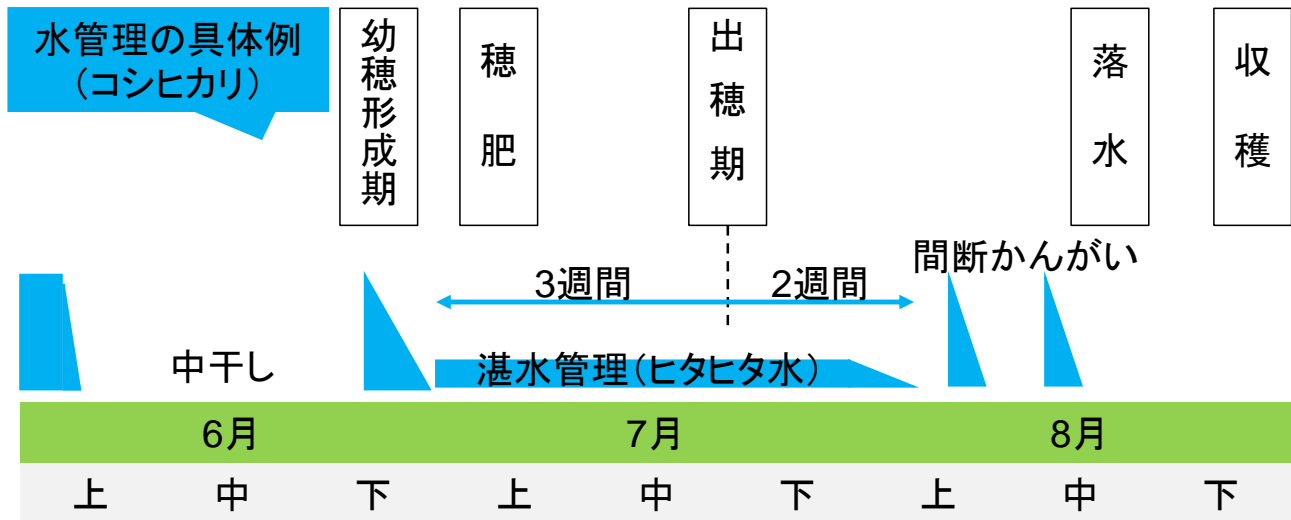
連絡先 池田(いけだ) t.ikd79@pref.chiba.lg.jp 0438-23-0299 (電話)

3 これからの管理のポイント

① 今後の水管理について（節水への御理解と御協力をお願いします！）

今年は、観測史上最も早い梅雨明けを迎えたため、少雨傾向が続いており、渇水への対応が必要となる可能性があります。かけ流し等には注意し、限られた水資源を有効利用しましょう。

※三島ダムの水位低下による渇水への対応として、節水への御理解と御協力をお願いいたします。



② 斑点米カメムシ類の防除

出穂期前後の畦畔の草刈りは、カメムシ類を水田の中に追い込んでしまいます。畦畔雑草は出穂の2週間前頃までに刈り取り、出穂後は、収穫まで雑草が出穂しないように草刈りしましょう。

防除適期は、成虫飛来期である「穂揃期（出穂期3日後）」と侵入した大型の斑点米カメムシ類の成虫が産卵した卵から幼虫が孵化する「出穂期から15日後頃」です。

品種	植付時期	出穂期予測（※）
ふさおとめ	4月20日	7月9日
ふさこがね	4月20日	7月10日
コシヒカリ	4月20日	7月20日
	5月1日	7月24日
粒すけ	4月20日	7月19日

※出穂期は、生育ステージ予測システム（千葉県試験研究成果普及情報）を基に予測。

③ 主要病害の防除

気象庁の1か月気温予報では、今後の気温が「高い」と予測されており、高温で発病が助長される紋枯病については多発する可能性があるので注意してください。

○いもち病：止葉などの上位葉に病斑がある場合は、穂いもちに移行し減収するおそれがあることから、穂ばらみ期に治療効果のある薬剤で防除しましょう。

○稲こうじ病：穂ばらみ期が低温の場合や降雨が多い時に発生が多くなります。前年に多発したほ場では出穂期10日前までに、薬剤防除をしましょう。

○紋枯病：茎数が多いと発生しやすくなります。また、紋枯病による葉鞘の枯れ上がりは倒伏を助長します。飼料用米品種でも発生がみられるので注意しましょう。

※ 次号は「12月上旬」発行予定